

## 放射線・放射能を正しく理解する

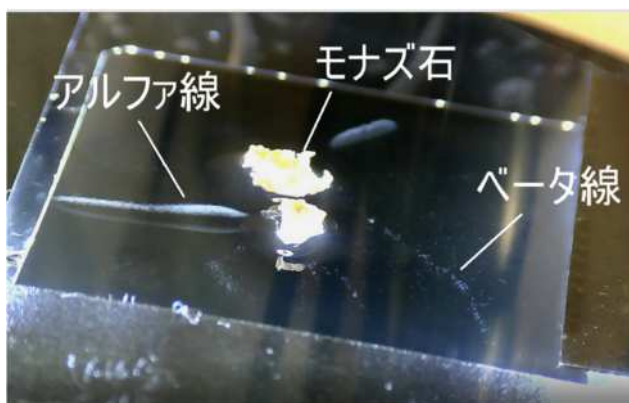
現在、旧コメリ飯舘店跡に、「環境の再生と循環を目指す協働空間<<sup>スットソーコ</sup>凶凶倉庫>」が創られつつあります。この「放射線を知る／見る」展示は、その基礎的展示テーマとして企画しています。

### 放射線を知る

飯舘村だけでなく一般社会の人にとって、放射能・放射線はよくわからないものでした。原発事故により外部から持ち込まれた危険で得体の知れないものと思われています。しかし、放射能・放射線は地球が誕生する前から存在し、生物誕生後も身の回りに存在しています。また、現在も宇宙から絶えず地上に降っています。これらを知らずに何が何でも怖いと思ったり、逆に大したことはないと思視するのではなく、より深く理解することで、放射能・放射線への対処のあり方を学ぶ必要があります。放射線を知る第一歩として、「目で見える」「発生と利用の仕組み」を展示し、より深い理解へのきっかけにしたいと思っています。

### 放射線を目で見える：霧箱

- 身の回りに存在するアルファ線、ベータ線、ガンマ線は直接目で見えないが、それらが飛んだ跡（飛跡）や空気と反応した跡は見るができる。
- 自分の目で直接、飛跡を見ることで放射線の存在を実感する。
- 天然石や日常生活で使われている物質に含まれる放射能を体感する。



天然石（モナズ石）から放出される放射線の飛跡

### 放射線の発生と利用の仕組み：クルックス管

- X線は人類が発見した最初の放射線であり、X線、電子線は現代の医療や産業用に幅広く利用され、なくてはならない存在である。
- クルックス管は高圧電気で電子にエネルギーを与えてX線を発生させる。
- 電子線、X線の発生を目視できるようにする。
- 放射線に対する遮へい効果を展示する。

放射能・放射線の展示は、一般の人々や子どもたちに、飯舘村再生の基礎として学んでもらう機会を提供する意義があると考えています。